

〔科目名〕 卒業研究				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 卒業研究科目	
〔担当者〕 鈴木郁生						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 実験・調査等を主体とした心理学研究							
〔演習内容〕 心理学とは、人間、そしてその心に関する学問です。そしてその領域は、人間の認知について科学的に研究する認知心理学、心の問題を理解解決しようとする臨床心理学、人と人の関係について考察する社会心理学など、様々です。この演習では、心理学全体を広く理解するというよりも、特定の領域に対する深い理解を求めようと思います。 そこで、みなさんの興味のあるテーマを選び、そのテーマについて1年間じっくり学んでみましょう。 最初は、心理学の様々な分野を紹介しますから、その上でテーマを決めて頂きたいと思います。テーマを決められない場合はこちらから紹介しますので、そのなかで選択して頂きます。 テーマを選んだら、その問題について調べてみましょう。実際に調べてみると、そのテーマについての問題意識が生まれると思います。その問題意識を基に、実際に実験や調査を行い、最終的には論文の形にまとめます。							
〔科目の到達目標〕 心理学の知識をもとに、問題を見つけ、実験・調査を実施し、得られたデータを分析し、考察する力を身につけます。具体的には、自らの選んだテーマについての卒業論文を執筆することが、本演習の到達目標です。							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2 ○	DP3 ○	DP4 ○	DP1	DP2	DP3	
〔前提条件〕 原則として、教養演習 (鈴木) を履修していること。							
〔学修の課題、評価の方法〕 (テスト、レポート等) まず自らデータを取得することを評価します。その上で、卒業論文の執筆を求めます。 卒業論文においては、その論理性や分析の正確さ、考察の妥当性などを総合的に評価します。							
〔教科書等〕 教科書は使用しません。参考図書は随時紹介します。							
〔実務経歴〕 該当しません。							
授 業 スケ ジ ュ ー ル							
時期	テーマと内容						
4～5 月	研究テーマ決定 先行研究の調査 先行研究の読み込み 研究内容の決定と絞り込み						
6～7 月	構想発表						
8～9 月	実験刺激・調査項目の収集と作成						

10 月	実験計画書作成
	予備実験・予備調査(10 月)
	刺激・調査項目の修正と決定
	実験プログラム・調査用紙作成
	実験機材の設置・調査用紙印刷等の準備
	実験・調査の手順書、セッティング表、教示文等の作成
11 月	最終的な予備実験・予備調査の事前練習
	中間発表
	本実験・本調査
12 月	結果の入力
	データ分析
	追加実験
	結果の考察
	研究論文作成
1 月末	提出